

平成22年度 市町村民会議連絡協議会役員及び育成推進員の紹介

地域で活躍されている役員の皆様及び青少年育成推進員の皆様を紹介します。こつこつと長年にわたり、青少年育成事業に関わっておられる方が多く、そのご尽力に対し心より感謝申し上げます。

青少年育成市町村民会議連絡協議会

1 各市町村民会議

- 新庄市青少年育成市民会議会長 佐藤 太郎
- 金山町青少年育成町民会議会長 三上 一雄
- もがみヤングすこやか会議会長 石原 英一
- 舟形町青少年育成町民会議会長 伊藤 準悦
- 真室川町青少年育成町民会議会長 河端 孝成
- 大蔵村青少年育成村民会議会長 矢口 智
- 鮭川村青少年育成村民の会会長 水戸 一徳
- 戸沢村青少年育成村民会議会長 矢口 信一

2 最上地区役員

- 会長 矢口 信一 ○副会長 矢口 智
- 監事 河端 孝成、三上 一雄

青少年育成推進員連絡協議会

1 各市町村推進員 (◎は市町村代表及び協議会理事)

- 【新庄市】 ◎大山 孝一、小笠原英俊、長澤 恵蔵、阿部 秀幸、斎藤 宏、今田 浩徳、三原 伸二、森 富喜子、京野 秀明、鈴木 愛子、小野 広美
- 【金山町】 ◎大場 孝、高橋 一裕、大野 正美、笹原 祐一、星川 賢一、五十嵐武司、渡部 昭仁、菅 圭一、天口由美子、栗田 幹子
- 【最上町】 ◎橋本 正、早坂 貢、八畷 啓一、菅 孝、沼澤 崇、遊佐 忠孝、佐藤 昭一、

渡部 勝義、二戸 孝芳、石山 和也

- 【舟形町】 ◎沼澤 啓、伊藤 光信、眞見 静子、伊藤 力弥、渡辺 弘一、加藤 貴、木島 広人、奥山 政憲、加藤 徹
- 【真室川町】 ◎小松 功、山田 茂寿、織田 吉昭、岸 享子、佐藤喜代広、渡邊 一枝、庄司 友美、横瀬 徳雄、姉崎 園子、庄司 文子、石川 祥子、沼澤 滋、斎藤 功
- 【大蔵村】 ◎斎藤 英幸、渡部 伸也、長南 政義、熊澤 健、早坂竹千代、松田 与市、福本 浩、早坂 信春
- 【鮭川村】 ◎水戸 一徳、栗田 準市、小川 邦彦、門脇 隆、林 昭、横山 健一、佐藤 賢美、矢口 清
- 【戸沢村】 ◎加藤 久和、松田 洋一、齋藤 信弥、秋葉 静雄、矢口 信一、加藤 政一、早坂 信一、庄司 亮一、荒川 精治、早坂 歳二、安食 信和、柿崎 英矢

2 最上地区役員

- 会長 大山 孝一
- 副会長 橋本 正、大場 孝
- 監事 斎藤 英幸、小松 功
- 理事 沼澤 啓、水戸 一徳、加藤 久和

平成22年度山形県あすをきづく青少年県民会議総会

5月27日(木) 県庁・講堂

総会概要 山形県あすをきづく青少年県民会議は、昭和41年12月に発足した会議です。明日の山形を担う青少年が心豊かでたくましく生きる大人に成長し、地域や社会を前向きに支えることを期待し、その実現を目指す会議(日野顕正会長)です。本会員や青少年育成団体関係者等がおおよそ150名参加されました。

当総会において、21年度事業報告及び22年度活動方針・事業計画(案)、そして名称が「山形県青少年育成県民会議」に変更する等6つの議案が上程され、すべて承認されました。総会終了後、山形大学地域教育文化学部教授の上山真知子氏を講師に迎え、「子どもたちの心身の健康と発達に対する大人の責任」の講演がありました。

- 健康とは：どのような環境でもたくましく生きる状態
- シックハウス症候群：不定愁訴や不登校傾向が多い
- 幼児等虐待：環境悪化を改善できない「いらだち」
- 長期間虐待：特に性的虐待を受けた子どもの脳が萎縮
- 両親の喧嘩・暴力：毎日見ている子どもの脳が10%萎縮
- 「考えない、見ない、聞かない」等の自己防衛本能

活動方針

- ①「大人が変われば子どもも変わる」
県民運動の実践
○声かけ運動
○モラル・マナーの向上運動
○子どもを事故、犯罪等から守る運動
- ②「家庭の日」の普及啓発
家族のふれあいや団欒の機会を増やす
月別推進テーマを設定

事業と予算

1. 県民会議運営事業……………6,384,000円
2. 県民運動総合推進事業……………370,000円
3. 地域社会環境づくり推進事業……………1,117,000円
4. 青少年育成広報啓発事業……………1,340,000円
5. アイディアコンテスト事業……………1,614,000円